

令和5年度国際理解ワークショップ 進行シート


















様式 4

令和 年 月 日作成

大学名： 上越教育大学

タイトル： 安い服と高い服の違いは？

1. 本ワークショップに関連するSDGsの目標に○印をつけてください。

○印	SDGs17の目標	○印	SDGs17の目標	○印	SDGs17の目標
<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	
<input type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
<input type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	

2 : 本ワークショップの要旨

みなさんはどんなお店で私服を買っていますか？その服が、どこで作られ、どんな流れで皆さんの手元に届いているかを知っていますか？世の中には、手ごろな値段で買える服もあれば、高級ブランド品もあります。その違いがどうして生まれているのか。その陰でどんなことが起きているのか、みなさんと一緒に考えてみましょう。

3 : 本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)

- ・安く売られている商品の背景を考える。
- ・さまざまな人が関わって、身近な商品が成立していることを知る。
- ・消費者にとって都合の良い商品が、誰かの不幸せと苦勞で成り立っていることを知る。
- ・これからの消費行動について見直す。

4 : 本トピックをとりあげる理由

わたしたちの生活に非常に身近な存在となりつつある、衣料品の格安販売。その背景には、違法な労働環境と貧困、大量生産された商品の廃棄による環境汚染、労働を強いられている人々への差別など、多くの問題がある。今、若者の間で人気があるファストファッションを取り上げ、消費者としてどう振舞っていくべきかを考える機会としてもらいたい。

5 : 活動過程

(使用時間： 50分 参加人数：)

過程(所要時間)	活動内容	具体的な発問・説明・動きなど	ねらい	使用する教材・備品	予想される反応、その他注意事項
導入 (10分)	<p>アイスブレイク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつも着ている服をどうやって選んでいるか話題にする。 <p>格付けチェック！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・値段の違う同じような見た目の服を3つ用意し、見せる。 班：5分 全体：2分 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんながいつも着ている服ってどうやって準備してる？どこからきたんだろう？ ・どの服が一番高く、どの服が一番安いか考えてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段から着ている衣服について関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・ 3つの服を比較した画像 ・服の画像を貼ったマグネット ・服 (SHEIN, UNIQLO) 	<ul style="list-style-type: none"> ・お母さんが用意してくれるからわからない。 ・おばあちゃんが服を作ってくれる。 ・お兄ちゃん、お姉ちゃんのお下がりを着ているよ。 ・家族で服を買いに行く。 ・家族が選んで、買ってくれる。 ・ユニクロ、GU、しまむら、イオン、ネット通販、スポーツメーカーなど。 ・どれも一緒に見える。 ・この写真は高そう！ ・GUCCI って書いてあるから高級ブランドじゃないかな？
展開 (10分)	<p>班活動① (10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安い服が安い理由を考える。 個人：2分 班：3分 全体：5分 	<ul style="list-style-type: none"> ・どうしてこんなに安い値段で買えるのかな？ <p>話し合い活動のヒント</p> <p>服のタグを見てみよう。どこからやってきてる？何でできてる？</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・服 (SHEIN, UNIQLO) <p>(タグの写真を拡大して用意)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・素材が安い ・作りがボロい ・簡単に作れる ・人件費削減 ・ベトナム ・服を作ってる人はベトナムにいるのかな？ ・絹、麻、綿 ・綿って植物だから、農家が育てているのかな？

<p>発展 (25分)</p>	<p>班活動② (10分) ・服が手元に届くまでの過程を知る。 班：5分 全体：5分 (ひと班あたり、一個ずつ考えを挙げていく)</p> <p>班活動③ (5分) 職業ごとの賃金の割合を考える。 班：5分</p> <p>・実際にどんな割合なのか。</p> <p>・それぞれの仕事の労働時間、仕事内容、賃金を考える。 (農家、服製造業、運送業の労働状況をそれぞれ1分ずつパワーポで紹介する)</p> <p>活動④ 再度職業ごとの賃金の割合を考える。</p>	<p>・この一着の服がみんなの元に届くまでに、どんな仕事関わっているのだろう？思いつくだけ挙げてみよう。</p> <p>・どの仕事にどれくらいのお金がもらえているのかな？割合を考えてみよう</p> <p>授業を通して、1000円の代金をあなたならどのように分けるのがよいと思いましたか？</p>	<p>・衣服が手元に届くまでに多くの職業が関わっていることに気づく。</p> <p>・衣服が手元に届くまでに関わっている様々な職業の中で賃金等の格差があることを理解する。</p> <p>・ファストファッションの裏にある労働問題について知る。</p>	<p>・紙で出来たお金の見本を使い、ワークシート(A3)上に1000円分を分ける。 (100円…8枚 10円…18枚 1円…20枚) ※両替できるよう、予備を用意</p> <p>・現状を知るための写真等 ・賃金、労働時間、労働環境、生活の様子等を比較するパワーポイント</p> <p>・自分が社長だったら…という視点で、活動③と同様の活動を行う。</p>	<p>・服屋で働いている人 ・宅急便の人 ・ユニクロって日本の会社だよな…？会社で働いている人もいるのかな。 ・服を作ってる人はベトナムにいるのかな？</p> <p>・この仕事は大変そうなのに、お金が全然もらえてないよ ・この人がいっぱいもらってるからじゃない？ ・このお給料でどのくらい生活できるんだろう。</p>
<p>まとめ (5分)</p>	<p>振り返り ・授業を通して気づいたことや感じたことを振り返る。 個人：5分</p>	<p>・こういう状況を知って、どう思ったかな？ ・今日の授業を通して考えたことやこれから大切にしていきたいことはなんだろう？ ものを買ったり、使ったりする上でどうしていきたい？</p>	<p>・エシカル消費について、自分ごととして考える。 ・自分の消費行動が服製造業に就く人々の生活の苦しさに繋がっていることを考える。 ・消費者がよい思いをしてる裏では、誰かが苦勞していることに気</p>	<p>・ワークシート</p>	

			づく。		
--	--	--	-----	--	--

6 : 会場のセッティング (対面の場合のみ)

通常の教室と同様

7 : 使用する教材

ワークシート、スライド、服等

8 : 参考にした資料

9 : その他